



いただきます11月号

R6.Nov. 白山市立鳥越中学校



山々の紅葉も鮮やかに映え、秋が深まっています。もう冬の足音も聞こえてきますね。今月は「いい歯の日」、「勤労感謝の日」、「和食の日」などがあります。食に関するいろいろなことについて、考えるきっかけにしてみてはいかがでしょうか。



「和食」の4つの特徴

①多様で新鮮な食材と
素材の味わいを活用



②バランスがよく、
健康的な食生活



③自然の美しさの表現



④年中行事との関わり



「和食」の味わいを作るもの

和食の基本
「だし」

だしのうま味を活かすことは減塩にもつながります。



味付けに欠かせない
「発酵調味料」

米・小麦・大豆などの穀物・
熟成させて作ります。



和食に欠かせない「ご飯」

和食は、「お米」を中心に、「汁」と「おかず（菜）」を組み合わせた「一汁三菜」の献立が基本です。

栄養バランスが良く、日本人の長寿を支える健康的な食事です。また、お米は日本人にとって欠かせない作物で、年中行事とも深く結び付いています。



11月の給食より



◇8日…『いい歯の日』

11月8日はいい歯の日です。

この日はよく噛んで食べる食材を多く使用した献立です。よく噛んで食べましょう。



◇19日…世界のジオパーク給食 『済州島(韓国)』

火山活動によってできた済州島は、火山地形が原形のまま保存されており、景色が美しく島全体が一つのジオパークに認定されています。給食では、ビビンバとカムジャタンが登場します。



日本人が発見した「うま味」

だしの「うま味」は、明治時代に、日本の科学者が昆布のだしからグルタミン酸を発見し、これを「うま味」と名づけました。甘味・塩味・酸味・苦味と並ぶ5つの基本味の一つとして世界でも認められています。英語でもそのまま「UMAMI」と表現します。

◇25日…和食日の献立

和食の基本となる食材の頭文字をとって

「まごわやさしい」という合言葉があります。

25日の献立は『まごわやさしい』の食材が全て入っています。

日本が世界に誇る和食の良さを改めて感じて、その恩恵に感謝して食べてみましょう。

